

第5章 印旛沼を恵み豊かな沼に再生するには

～第2回 印旛沼再生行動大会に家族全員で参加～



お父さん、沼を再び恵みの沼にするためには、どうしたらいいのですか？

(父)

良子、会場でもらったパンフレットで千葉県「印旛沼流域水循環健全化会議」で平成16年2月につくられた「緊急行動計画」の目標と期間を解説してあげよう。



まず、沼をきれいにするためには、少しずつ、できることから実行することが大事なんだ。だから、最終目標は今から25年後の2030年におくけれど、まず5年後の中間目標を作って、2段階できれいにするんだよ。今から始めて、良子たちがお父さんやお母さんの年になる頃に、昔のような印旛沼がよみがえるように、できることから始めるんだ。

恵みの沼再生に向けて 緊急行動計画の策定

緊急行動計画の策定

「緊急行動計画（中期構想）」

- ・ できることから実行する。
- ・ 各実施主体の役割分担を明確に定めた。

目標年次：約5年後



「印旛沼流域水循環健全化計画（長期構想）」

- ・ 中期構想の対策に加え、長期的な視点も含む。

目標年次：約25年後
「恵みの沼」の再生



まず、目標は次の4つだ。

<目標1>遊び、泳げる印旛沼・流域

<目標2>人が集い、人と共生する印旛沼・流域

<目標3>ふるさとの生き物はぐくむ印旛沼・流域

<目標4>大雨でも安心できる印旛沼・流域



(母)

目標っていうから、むずかしい数字や言葉かと思ったけれど、私たちにもわかりやすいものなのね。

緊急行動計画水循環健全化目標

緊急行動計画の策定

目標

印旛沼再生 ～恵みの沼をふたたび～

<目標1>
遊び、泳げる
印旛沼・流域

<目標2>
人が集い、
人と共生する
印旛沼・流域

<目標3>
ふるさとの生き物
はぐくむ
印旛沼・流域

<目標4>
大雨でも安心
できる
印旛沼・流域

(父)

「そうだよ。私たちみんなの目標なんだから、みんなにわからなければ意味がない。

たとえば、泳げるくらいにきれいな水質 (<目標1>) というのを、もっと具体的に分かりやすく決めている。5年後の目標として、「浮葉植物群落ふようしょくぶつぐんらくが再生できる」25年後の最終目標では、「沈水植物群落ちんすいしょくぶつぐんらくが再生できる」くらいに透明な水というように、具体的な目標にしているんだ。



目標達成評価の視点

⇒ 4つの目標の達成を、複数の視点で評価する

達成評価視点の一例

5年後

25年後

水質 (COD)	8mg/L	➔	5mg/L
水生植物	浮葉植物群落 <small>ふようしょくぶつぐんらく</small> の再生		沈水植物群落 <small>ちんすいしょくぶつぐんらく</small> の再生



(父)

それから、この目標は「印旛沼方式」で取り組む、というのが、今までと違う画期的なやりかたなんだ。

(透)

印旛沼方式ってどういうことなの？



印旛沼方式とは、

1. 水循環の視点、流域の視点で総合的に解決する計画

(印旛沼の水質を良くするために、水質の対策だけ考えるのではなくて、水循環のことや沼の周り(流域)のことも広く考えよう！)

2. 印旛沼の地域特性に即した計画

(一般論ではなく、印旛沼にとって何が重要なのかをよく考える)

3. みためし計画

(「みためし=見て試す」:最初に立てた計画を最後まで実施するのではなく、計画を途中で修正しながら進めていくこと。トライ アンド エラー。)

4. 住民とともに進める計画

(行政の人だけがやるのではなく、私たち一般の住民もできることを一緒に行う。)

5. 行政間の相互連携による計画

(国、県、市、町などが別々に仕事をするのではなく、一緒に相談しながら、それぞれが仕事を分担して印旛沼をきれいにしていく)

このように、県や国が印旛沼をきれいにしてくれるのを待っているのではなく、私たち市民も含めてみんなができることを、相談しながら、様子をみながらやってみよう、という方法を「印旛沼方式」と名づけたんだ。



沼とその流域の周辺で、取り組んでいることは何ですか？

(父)

緊急行動計画(5年後の中間目標)として、特に重点的に進める対策群として、次の5つがあげられている。



1. 雨水を地下に浸透させます。

(雨水を台地にもどし湧水や川の水を増やします。)

2. 家庭から出る水の汚れを減らします。

(住民一人ひとりが家庭でする浄化対策により川や沼に流れ込む汚れを減らします。)

3. 環境にやさしい農業を推進します。

(人や環境にやさしい農業を進めます。)

4. 湧水と谷津田・里山を保全・再生し、ふるさとの生き物を育みます。

(ふるさとの自然を大切にして多様な生き物のすみか(生育空間)を復元し保全します。)

5. 水害から街や公共交通機関を守ります。

(洪水から街や生活を守ります。)

この中で私たちにできることも、たくさんありそうだね。

いま、私たちにできることはなんですか？

印 旛 沼

印旛沼流域一帯

頭（知識）と手（行動）を一つにして
できることから、さあ！始めましょう。

印旛沼と
その流域を
愛するみなさん

◎家庭でできることは？

- 水を大切に使い、むだな水は流しません（歯みがき、洗顔はコップや洗面器を使い、車の洗車等は、バケツを使います）。
- 水をよごさないように、気をつけます（食べ物を残さない、すてない、油は流しにすてず、新聞紙につつまみゴミとしてすてたり、洗剤を多く使わないようにします）。
- 環境にやさしい製品をつかいます（リサイクル製品を使ったり、使い捨て製品は使いません）。

◎学校でできることは？

- 印旛沼の自然の仕組みや環境について、正しく学びます。
- 生き物を大切に育てて、自然を大切にします。
- ものを大切にする取り組みを、学校でも実施いたします。

◎自分でできることは？



マユタテアカネ♂



オオシオカラトンボ♀



オニヤンマ

◎友達と協力してできることは？



アサザの花

◎地域の人達と、協同してできることは？

- 印旛沼の自然観察会などに参加し、地域について勉強します。
- 印旛沼や地域の美化活動や清掃活動に参加します。
- 地域に花を植えたり、すんでいる生き物を大切にします。
- リサイクル活動に参加したり、空き缶やゴミをすてず、積極的に回収します。



ベニシジミチョウ

この本を読んで思ったこと！



モズ

